

第6回大田区移動等円滑化推進協議会

議 事 概 要

日 時：平成24年4月27日（金）10：00～12：00

場 所：区役所本庁舎11階 第五・第六委員会室

出席者：末尾に記載

次 第：

開会

議事

- 1 委員の交代について
- 2 かまた街なか“すいすい”プランについて
- 3 （仮称）大田区移動等円滑化推進計画（大森駅周辺地区）について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

質疑

事務連絡等

閉会

資 料：

- ・次第
- ・座席表
- ・委員名簿
- ・かまた街なか“すいすい”プラン
- ・資料1「（仮称）おおもり街なか“すいすい”プラン」の策定について
- ・アンケート票

主な質疑応答

1. (仮称)大田区移動等円滑化推進計画(大森駅周辺地区)について

高橋委員長 : 資料1. p5. 表-2 生活関連施設の候補の内訳に「公共交通 a:特定旅客施設 一日平均5,000人以上の乗降がある鉄道駅」とあるが、平成23年3月に改定された基本方針では3,000人以上と規定されている。5,000人としたのは、前回は引き継いだという意味なのか。3,000人としても問題はないか。

事務局 : 対象地区には大森駅と大森海岸駅の鉄道駅がある。大森海岸駅は品川区に属するが、大田区民も多く利用しているほか、駅前の道路を大田区が管理していることから生活関連施設の対象と考えている。2駅とも乗降者数に問題はないが、表-2の記述については事務局で精査したい。

高橋委員長 : 両駅の乗降者数はどれくらいなのか。

事務局 : 一昨年の調査では、一日平均の乗降者数は大森駅が約18万5千人である。大森海岸駅は区外なので調査していないが、区内の京浜急行の駅では1万人を超えていることからほぼ同数と考えられる。

高橋委員長 : 対象地区に路外駐車場はないのか。

事務局 : 単独の駐車場はなく、施設に併設した駐車場のみである。

嶋田委員 : 大森駅の特徴としてバスターミナルがある。山王口のバスターミナルは未だ整備されず混雑しているほか歩道も狭隘である。何か検討しているのか。

事務局 : 山王口については対象エリアをどう設定するか現在検討中であるが池上通りについては都市計画道路の整備とバリアフリーの整備との整合が問題になると考えている。バスターミナルの問題は池上通りの問題と絡むものであり、バリアフリーの視点で検討を行うが、その先はより大きな計画で検討すべき課題であると考えている。

高橋委員長 : 池上通りは都市計画道路整備の事業計画を策定しているのか。

事務局 : 池上通りの大森駅周辺については東京都の前期事業化路線として位置づけられているが、事業認可はされていない。

高橋委員長 : 駅前広場を一体的に都市計画決定しているのか。

事務局 : 駅前広場は都市計画決定されていない。

2. 今後のスケジュールについて

高橋委員長 : アンケートの配布対象を詳しく説明してほしい。

事務局 : 障がい者団体と高齢者団体のほか、子育て世代のご意見を伺うため保育園にも配布する。

高橋委員長 : アンケートの施設に関する質問の中で、施設内の利用について不便なことを聞いてはどうか。

事務局 : 施設内の状況については事前点検で対応する予定である。

高橋委員長 : 事前点検もよいが、せっかくアンケートを配布するのだから質問項目として追加してはどうか。

- 事務局 : 検討する。
- 江守副委員長 : 移動手段がわかるような設問を追加してはどうか。
- 宮沢副委員長 : 庁内検討会で検討する具体的な内容を教えてほしい。また、区民部会の点検について詳細に教えてほしい。
- 事務局 : 庁内検討会では、区関連施設についての点検結果の報告やその改善点の調整、協議会に諮る内容に関して関係部局と事前確認を行うほか、計画策定に関する検討を行っている。また、区民部会での点検について、昨年は協力いただける施設を全て点検した結果、かなりハードなスケジュールとなってしまった。今年は事前点検やアンケートの結果を踏まえ施設数をしぼり、点検の効率化を図りたいと考えている。区民部会では3グループが1日で点検できる範囲としたい。
- 高山委員 : 障がい者にとってハードな点検は厳しい。障がい者のことを考えた点検となっているのか。
- 事務局 : 障がい者の方とともに点検しないとわからないバリアもあり、それらを計画に反映させていきたい。関係者と十分調整を行い、点検のボリュームを昨年より縮小させて1日で点検できるようにしたい。
- 高山委員 : 障がい者は健常者と比べて疲労感が強い。障がい者に十分配慮してほしい。
- 事務局 : 配慮していきたい。
- 江守副委員長 : 資料1. p6、特定旅客施設の中には駅前広場やバス停などの交通事業者に関する施設が含まれているという認識でよいか。
- 事務局 : その通りである。
- 島村委員(代理) : 大森海岸駅は品川区の駅であるが、区界に接している大田区外の施設でも計画に反映するのか。もし、反映するのであれば西友、大森ベルポートと同様の位置づけにしてほしい。
- 事務局 : 事前に西友と大森ベルポートに話をしたところ計画への協力は得られそうであった。まずは点検をした後、区外施設を大田区の計画に反映することについて品川区と調整を行いたい。計画に反映できそうな時には事業者の方にも協力をいただきたい。
- 島村委員(代理) : 今回、大森海岸駅が大田区の計画に反映された場合、今後、品川区がバリアフリー基本構想を作成する時には、その対象から外れるのか。
- 事務局 : 品川区の判断なので、大田区としては回答できない。
- 高橋委員長 : 駅構内まで踏み込んで計画に反映するかは両区の調整に委ねられるが、できれば今回の計画に反映することがベストのように感じる。ケースは少ないが23区内には2つの自治体が協力して計画を作成しているところがあるので、それを活用しつつ、よりよい計画を作成してほしい。

閉 会

第6回 大田区移動等円滑化推進協議会 出欠状況

氏名	所属・現職	出欠（出席：○）
高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 学部長	○
菅原 麻衣子	東洋大学 ライフデザイン学部 准教授	×
江守 央	日本大学 理工学部 助教	○
宮澤 勇	NPO 法人 大身連 理事長	○
岩本 安起	大田区肢体障害者福祉協会 理事	×
高山 千鶴子	大田区視力障害者福祉協会 会長	○
竹内 千代江	大田区聴覚障害者協会 副会長	○
佐々木 桃子	大田区知的障害者育成会 会長	×
君島 文雄	大田区精神障害者家族連絡会 代表	○
嶋田 実	大田区老人クラブ連合会 会長	○
佐藤 大助	大田区自治会連合会 会長	○
遠藤 孝一	大田区商店街連合会 会長	○
高橋 秀昭	ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 副会長	×
高橋 健	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室副課長	○
佐藤 乙依	東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業統括部事業推進課長	×
島村 昭一	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 計画営業部計画課長	代：森田氏
堀切 弘行	東京モノレール株式会社 総務部 課長	○
安田 智	東京都 交通局 総務部 技術調整担当課長	×
依田 修	東急バス株式会社 営業部 運輸課長	代：和田氏
清野 尚	京浜急行バス株式会社 総務部 部長	○
上田 誠	国土交通省 東京国道事務所 交通対策課長	○
吉野 茂	東京都 第二建設事務所 管理課長	○
根本 敦	大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課長	代：中川氏
小沼 進一	警視庁 蒲田警察署 交通課長	○
松本 均	警視庁 田園調布警察署 交通課長	×
眞島 信彦	警視庁 池上警察署 交通課長	代：菅野氏
磯部 守男	警視庁 大森警察署 交通課長	代：藤田氏
中村 勝一	大田区 経営管理部 施設管理課長	○
中山 順博	大田区 教育総務部 施設担当課長	○
池田 敏之	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	代：久米氏
安部 文洋	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	代：笠原氏
今井 健太郎	大田区 経営管理部 経営担当課長	○
町田 達彦	大田区 産業経済部 産業振興課長	○
青木 毅	大田区 産業経済部 観光課長	○
森部 一夫	大田区 福祉部 福祉管理課長	○
太田 誠一	大田区 まちづくり推進部 まちづくり推進部長	○
荒井 昭二	大田区 まちづくり推進部 まちづくり管理課長	○

吉田 春彦	大田区 まちづくり推進部 交通企画担当課長	○
齋藤 浩一	大田区 まちづくり推進部 都市開発課長	代：大貫氏

事務局：まちづくり推進部 まちづくり管理課
福祉部 福祉管理課

傍聴者：1名